

問6 「自立と自治のまちづくり」について

【現状評価】

1. 市民が中心となったまちづくり活動が活発におこなわれている
2. 自治会活動などをおこなうための支援が充実している
3. 住民やNPO法人与行政が協力したまちづくりがおこなわれている
4. 職員の対応に好感をもつことができる
5. 住民票の取得など各種行政手続が簡単にできる
6. 住民票などの個人情報適切に管理されている
7. 市政に関する住民会議や懇話会が活発におこなわれている
8. 職員数の適正化や業務の民間委託など行政組織の改革が効果的におこなわれている
9. 市民ニーズや生活への影響を考慮した公共事業が取り組まれている
10. 近隣市町村と協力した地域づくりがおこなわれている
11. 友好都市・姉妹都市との交流事業が盛んにおこなわれている

【満足度評価】

- 「自立と自治のまちづくり」に対する満足度

【現状評価と満足度の関係性】

- 重回帰分析結果

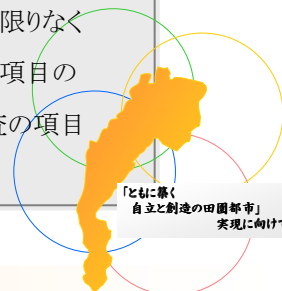
《重要》 結果を見る前に確認してください

P28とP29-30の平均値の違いについて

P28に示される平均値とP29-30に示される平均値の値は若干異なります。これは、P28に示される数値が各項目に回答した回答者全員の平均値であるのに対して、P29-30に示される数値は重回帰分析の実施にあたり、**問6の質問項目全てに回答した回答者の平均値**を示しているためです。

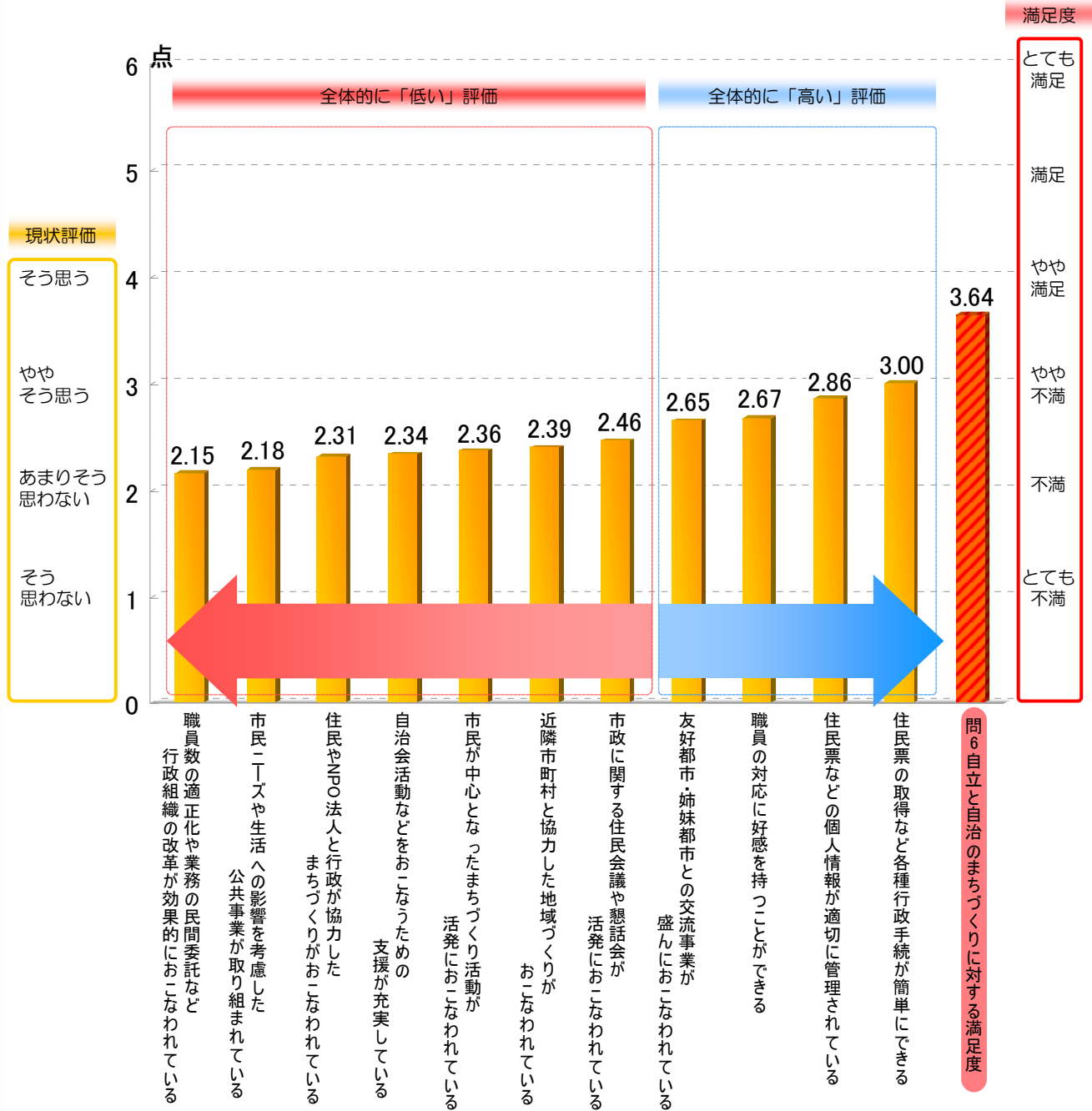
P29-30の寄与率と有意確率・検定結果について

「寄与率」とは重回帰分析によって示された「現状評価が満足度評価に与える影響力の大きさ」です。「有意確率」とは、「影響(寄与)が偶然によるものかどうか」を統計的(確率的)に検定する基準です。統計的検定の仕組みは省きますが、社会調査では90%以上を統計的に信頼できると判断することが多く、検定結果では○で示してあります。なお100%は四捨五入の値であり、限りなく100%に近いことを意味しますが、影響の絶対性を保証するものではありません。また、各項目の寄与率の合計は通常100%にならず、多くの調査では50~60%となります。これは、本調査の項目以外に満足度に影響を与えるような無数のその他要因があるためです。



問6. 「自立と自治のまちづくり」に関する評価の状況

塩尻市の「自立と自治のまちづくり」について様々な場面の現状と全体的な満足度を評価した。2.5点を基準に、「低い」評価と「高い」評価に分けて結果の分析をおこなった。



「自立と自治のまちづくり」に対する住民の評価（要約）

- 各種行政手続のしやすさや対応する職員に対しては比較的高い評価が得られている。
- 地域自治や行政と住民の協働に対しては中間的な評価よりもやや低い評価が得られている。
- 公共事業や行政の業務改革に対してはかなり低い評価となっている。
- 総合的な判断として塩尻市の「自立と自治のまちづくり」は「やや満足とやや不満の中間的な評価」

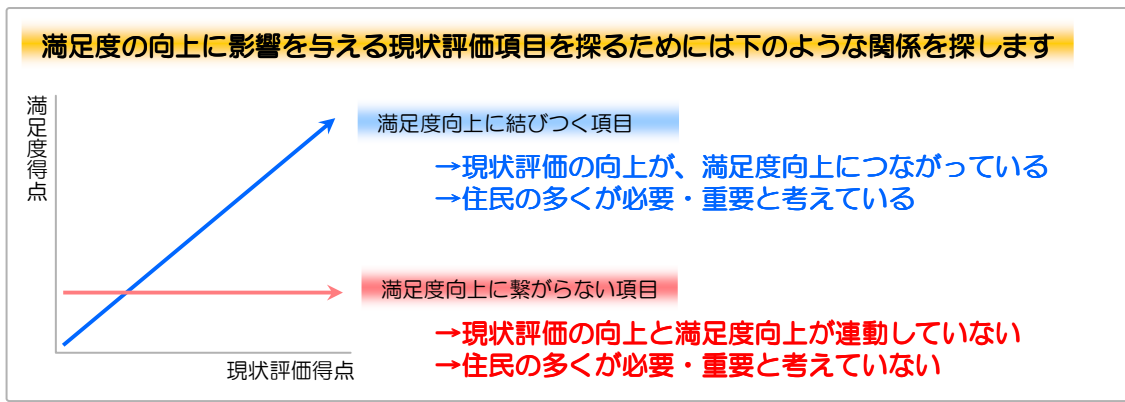
問6. 「自立と自治のまちづくり」において満足度を高める要因分析①

塩尻市において、「自立と自治のまちづくり」に住民が満足するためにはどのようなことが求められているのかを **現状評価** と **満足度評価** の結果から分析をおこなった。



どのような **現状評価** 項目が改善・充実する(評価が上がる)と「自立と自治のまちづくり」に対する **満足度評価** が向上するのかを「重回帰分析」と呼ばれる統計分析で検討し、今後の取組みの **重要度評価** をおこなった。

● 満足度評価に影響を与える現状評価項目の把握 (重回帰分析のしくみとなる相関について)



手続き①：重回帰分析の結果(寄与率順)

※寄与率・有意確率・検定結果についてはP27参照

評価項目	平均値	寄与率	有意確率	検定結果
(5)住民票の取得など各種行政手続が簡単にできる	2.91	13.79%	96.84%	○
(8)職員数の適正化や業務の民間委託など行政組織の改革が効果的におこなわれている	2.25	12.15%	90.60%	○
(2)自治会活動などをおこなうための支援が充実している	2.37	10.25%	88.52%	-
(1)市民が中心となったまちづくり活動が活発におこなわれている	2.35	9.41%	80.19%	-
(9)市民ニーズや生活への影響を考慮した公共事業が取り組まれている	2.29	8.42%	73.36%	-
(4)職員の対応に好感を持つことができる	2.64	7.03%	75.40%	-
(11)友好都市・姉妹都市との交流事業が盛んにおこなわれている	2.57	4.70%	62.79%	-
(10)近隣市町村と協力した地域づくりがおこなわれている	2.43	2.95%	35.04%	-
(3)住民やNPO法人と行政が協力したまちづくりがおこなわれている	2.29	1.81%	21.59%	-
(6)住民票などの個人情報適切に管理されている	2.82	0.48%	6.00%	-
(7)市政に関する住民会議や懇話会が活発におこなわれている	2.41	-7.75%	77.38%	-

※ 上表の平均値が前頁得点とやや値が異なるのは、重回帰分析をおこなう上で問6の項目全てに回答している必要があり、アンケート回答に漏れがあった回答者を除いて再分析したため



「自立と自治のまちづくり」に対して満足を感じるためには・・・

- 住民票の取得など各種行政手続が簡単にできる
- 職員数の適正化や業務の民間委託など行政組織の改革が効果的におこなわれている

満足度向上に影響(寄与)する項目

の2つの現状評価項目に関して改善や充実が必要である可能性が示された

重要度評価

問6 「自立と自治のまちづくり」において満足度を高める要因分析②

満足度評価 に影響を与える 現状評価 のうち、現在「低い」評価がされている項目と現在「高い」と評価されている項目を把握し、分野としての 重要度評価 をおこなった。

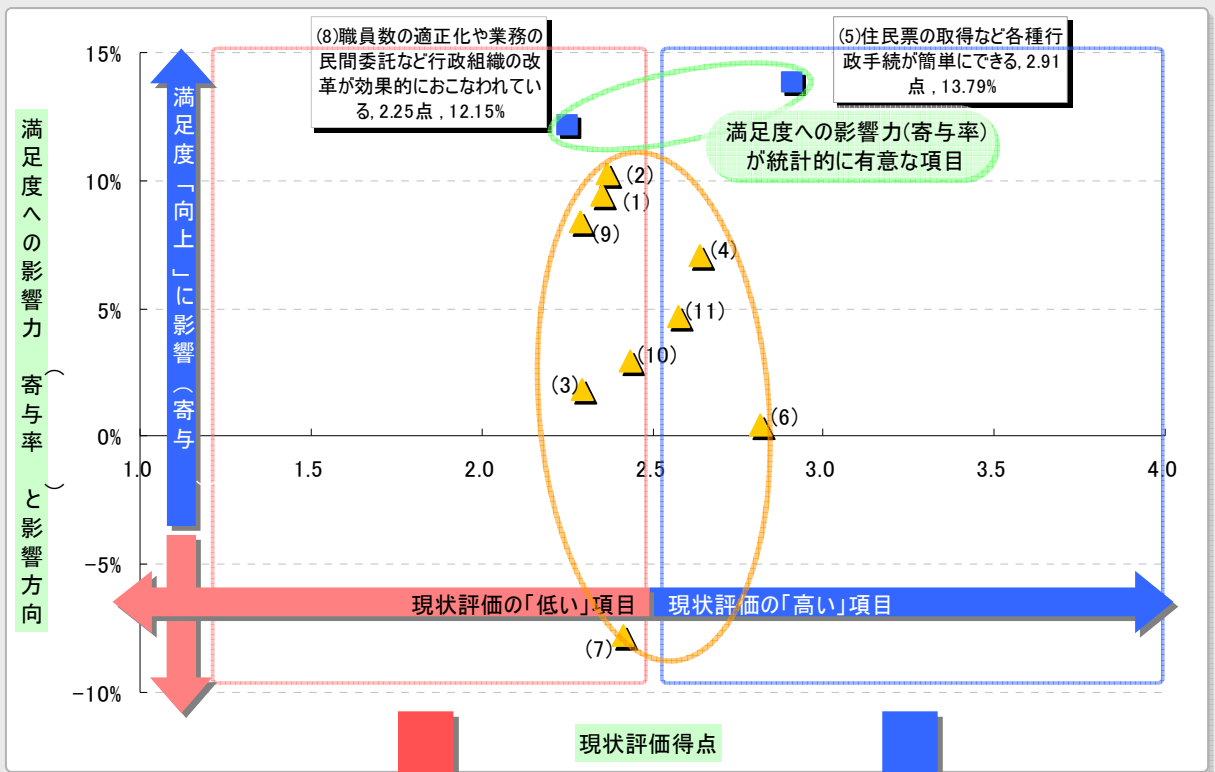
●満足度評価に影響を与える現状評価項目の把握（重要度把握のしくみ）

重要度の高い現状評価項目を探るには下のマトリクスを参考に結果を見ます

	現状評価【低い】	現状評価【高い】
満足度への影響力【大】	現状の大幅な改善・充実が早急に必要	現状を基準にさらに満足度向上を目指す
満足度への影響力【小】	現状評価の向上が必要	現状維持

手続き②：重要度分析の結果

統計的に影響力が無いと判断された項目の項目名は前頁の評価項目番号を参照



職員数の適性化や業務改革に対する現状評価はやや低い評価となっているが、満足向上への影響力が大きい項目である。現状を早急かつ抜本的に改善する必要性の高い分野である。

住民票など各種行政手続のしやすさは高い評価となっており、満足度向上への影響力が大きい項目である。今後も継続的に更なる充実のために施策を検討する必要性の高い分野である。